

報告 社協会費中間報告(11月30日時点)

1,911,550円 となりました

令和5年度社協会費にご協力いただきありがとうございます!

お問合せ 総務課総務係 ☎ 957-4100

令和5年度 特別会員&賛助会員名簿(敬称省略・順不同)

皆さまのあたたかいご支援ありがとうございます。集まった社協会費は町内福祉活動事業及び福祉団体支援等に活用させていただきます。

確定申告時に

税額控除制度が適用

されます!

大山崎町社協への寄付金および社協会費を支払った場合、所得控除制度が税額控除制度のいずれか有利な方を選択できます。「税額控除に係る証明書」は、社協HPからダウンロード可能です。

報告案内 いきいきサロン

11/2(木) 宇治市植物公園へ

少し汗ばむ秋晴れの中、ボランティア「彩花」のご協力のもと、22名の参加者とともにバスで出かけました。園職員さんによる園内ガイドや匂い袋作りを体験。みなさん、おしゃべりしながら紅葉した木々を写真撮影するなど、楽しんでいました。



10月11日 音楽の秋 バンド演奏(JAZZ)などを楽しみました!

民生児童委員やボランティア「フレッシュエンド」とともに、大正琴やトランペット、ピアノなどの生演奏を各会場で楽しみました。



1月・2月の開催予定 申込み不要 参加費無料

Table with 3 columns: ミュージックケア (1/11木), 脳活性化ゲーム (2/7水), マジックショー (2/8木)

\*「いきいきサロン」は大山崎町にお住いの主に65歳以上の方を対象に、ボランティアさんと社協で運営するサロンじゃ。いっしょにどうじゃ?

お問合せ 地域包括支援センター ☎952-6533

報告 助け愛隊サポーターフォローアップ講座

10月~11月の3回にわたり、「助け合いについて今一度考える」をテーマにシンポジウムやワークショップを交えた講座を開催しました。子育て中の世代やヤングケアラー、高齢者などいろいろな世代にそれぞれ困りごとがある中、全てに共通して「つながり難さ」があることを再確認し、最終は「自分でできること」を発表し合いました。



募集 助け愛隊サポーター養成講座

これから、「地域で役立ちたい」「高齢者の方と楽しみながらサポートしたい」「集える居場所をつつてみたい」「自分も健康維持しながらみんなの健康を応援したい!」などなど、『助け愛』をお持ちの方、助け愛隊サポーターへ登録しませんか? 養成講座を受講し修了認定されると、活動できます。

「団地で取組む介護予防」

~大山崎町と宇治市北横ODEN取組み~ 2月28日(水)13:30~16:30 公民館別館2F第1研修室 事前申込制 お問合せ 地域包括支援センター ☎952-6533

募集 プロジェクトO(オー)

高齢者の一人ひとりが主人公となり、住み慣れた大山崎町でいつまでも自分らしく暮らすために、「話し合い」「助け合える仕組みを創る」ことを目的としたプロジェクトです。この会議へ参加しませんか?

毎月第3木曜日10時~ ながみの郷にて

\*今は(11/16現在)、高齢者に限らず、外出先で会話が生まれやすいきっかけづくりを話し合っています。

退職後の方のスムーズな地域デビュー方法ないかしら? 公園でのスポーツ大会は? ベンチの設置もどうか

案内 オレンジロードつなげ隊

令和6年2月17日(土) 13:30~14:30 乙訓地域包括ケアシンポジウム会場にて

認知症の正しい理解と支援を推進するオレンジロードつなげ隊がマリーゴールドの種を配布します。

報告 介護FESTA

一突然、介護に直面しても困らないために~

11月26日(日)に開催した「介護FESTA」には多くの方が訪れ、楽しいだけでなく介護に対する不安や疑問に応えるフェスタになりました。介護をテーマにした経過や準備の様子、来場者の声をご紹介します。

◆昨今の家族介護の状況

働きながら介護するビジネスケアラー260万人 経済損失9.2兆円

介護離職や仕事をセーブする方の増加により、2030年には経済損失が9.2兆円になる見込みで、令和2年度厚生労働省による研修事業で、家族介護者支援が求められていることが分かります。

大山崎でも介護未経験の40~50代の方から、「親の生活がこのままでいいのか」「今後の生活をどのようにしたらいいのか」といった問い合わせがあるわ

総合相談では、介護離職や仕事をセーブして対応する家族がいることもわかったわ

◆介護がテーマのフェスタを検討

『親が元気なうちから把握しておくべきこと~突然、介護に直面しても困らないために~』(厚生労働省)を参考に、「大山崎町介護支援専門員連絡会」で介護をする上で知っておくことなどをテーマにフェスタの開催を検討。

40~50代向けに介護をする上で知っておくことについて講演を行いましょう

◆さらに「介護フェスタ」の内容を検討

町内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーと地域包括支援センターとで定期的に「あったらいいね、こんなフェスタ」を話し合うように。

介護保険を利用するには、どんな手続きが必要で、町内にどんな事業所があり、どんな人が介護に携わっているのかを知ってもらうことが大切だね

町内の施設紹介を動画にしたら分かりやすよね

日頃は見れない福祉用具を知ってもらおう

◆準備中のエピソード 町内の高齢者の方に講演会看板の題字を依頼。出来上がった看板は右の通り。下書きなしでこのできばえに驚くばかりでした。

さすがやわ~

いきなり下書きなしで!!

◆参加者の声 アンケートから抜粋

<<講演について>>

午前「あなたの老後を守るために今からできること」 午後「人生最期の過ごし方 ~住み慣れた地域で安心生活の秘訣~」

・今回の企画は大変有意義だった。 ・聞きやすく分かりやすかった。 ・初歩的な大事なことを知った。 ・改めて自分の再起を考える機会になった。 ・地域医療支援のネットワークの充実ぶりが分かり安心できた。

<<各ブース>>

宅配弁当試食会 思っていた以上に美味しかった。お腹いっぱいになった。

認知症チェック タッチパネルが操作しやすかった。受けて安心できた。

施設入所相談会 夫のことで施設を知りたかった。説明が分かりやすく参考になった。

おしゃべりカフェ やまびこの商品を買いたかった。プレス式コーヒーが美味しかった。特殊寝台の相談ができた。

骨密度測定 (測定は115人/児童~シニア層) 年相応で安心した

体力測定 実際の年齢より若い結果となり、モチベーションが上がった

電動車いす体験 簡単だと思っていたが簡単ではなかった。

階段昇降機 便利さを知った。

町内施設動画 施設の映像を見て、設備やどんな事をしているのかを知ることができた。

<<フェスタ全体について>>

・町内をまわって欲しい/今後も続けてほしい

・関心のあるブースばかりだった。具体的に相談などができ、試せるコーナーも充実していた。

・介護の知識と支援を知り、参考になった。

・普段から介護に関して興味を持っている方が多いと感じた

どうしていか悩んでいる方が多く、今回の介護FESTAで解決策が見つかったり、悩みが少なくなれば